

多摩キャンパス

首都圏父母懇談会実行委員長 井崎 美妃

10月18日(土)、多摩キャンパスで父母懇談会が開催されました。
天気にも恵まれ、自然を感じながら、大学祭で活躍する学生の姿も見ることができ、充実した一日となりました。



子どもの母校は我が母校

多摩キャンパス首都圏父母懇談会では学生スタッフと連携し、スムーズな運営を行いました。キャンパスツアーでは、広大な敷地を「ディズニーランドより少し大きい」と紹介しつつ、丁寧な案内で好評を得ました。今回は初めてアメリカンフットボール部のブースを出展し、活動内容や魅力を保護者の皆さまに直接PRしました。昨年度を上回るご来場、誠にありがとうございました。



人気メニューを実食！学食体験

健康社会の基本は「食事・運動・休養」とされ、スポーツ健康学部の食堂も栄養教育の観点から教育活動を支える役割を担っています。父母懇談会では学食体験としてカツカレーと鶏の照り焼きを提供し、多くの保護者の皆さまにご利用いただき大好評でした。「毎日おいしい」と話す娘の言葉にも、学食の魅力が表れていると感じました。



学びと進路の今を知る

学部別懇談会では、各学部から教育内容や学生の様子について説明があり、保護者の理解を深める機会となりました。キャリアセンター職員による講話では、就職や進路に関する具体的な話があり、将来に向けての参考になったと思います。終了後には個別相談も行われ、熱心に相談する保護者の姿が印象的でした。

小金井キャンパス

首都圏父母懇談会実行委員長 石原 修二

秋らしい穏やかな晴天に恵まれた10月12日(日)に、小金井キャンパスにて「首都圏父母懇談会」が開催されました。
今年のテーマは「理系キャンパスの実践知を体験」。来場された保護者の皆さまに、小金井キャンパスの魅力を体感いただきました。



懇親タイムの様子

今年は、一日楽しんでもらえるよう、午前・午後の二部制を廃止し、イベントを増やし、既存イベントの充実を図りました。新イベントの一つは、保護者同士の懇親タイムです。副学長とキャリアセンターによる講話の後、同じ学部・学科、学年の近い5〜6名でグループを組み、お子さまの学生生活や学び、就職や進学などについて情報交換を行いました。保護者の方から「親同士の同じ目線での交流ができて良かった」との声が寄せられました。



スタンプスポット

懇親タイムの後には、担当教授や学生による施設見学を実施。普段は立ち入ることのない研究室や実験室など、学びの場を案内していただきました。昨年に続き2年目のスタンプラリーは、さらにパワーアップ。中庭のニュートンのリンゴの木(写真左)、今年の鳥人間コンテストで287mという法政大学記録を大幅更新した航空工学研究会HoPE(写真右上)と自作ロボットやドローンを紹介した電気研究会(写真右下)のブースなどを巡っていただきました。



当日の支援メンバー

HoPEブースでは実際に琵琶湖を飛行した機体の一部に触れたり、電気研究会ブースでは迷路を探索するロボットを操作したりと、学生との交流を楽しんでいました。当日は、ご協力いただいた学生の皆さまをはじめ、後援会OB・OG、市ケ谷・多摩の後援会役員、そして小金井の後援会役員が丸となって、実践知の体験をサポートしました。来年も多くの保護者の皆さまにご参加いただけることを、後援会役員一同心よりお待ちしております。

SUPPORTER'S ASSOCIATION NEWS

後援会だより

後援会の活動報告

後援会の多岐にわたる活動についてご紹介します

2025年度

首都圏父母懇談会キャンパスレポート

市ケ谷キャンパス

首都圏父母懇談会実行委員長 富士 豪生

酷暑も終わり穏やかな気候の下、10月5日(日)に市ケ谷キャンパス首都圏父母懇談会が開催されました。
後援会スタッフが6月から準備を開始した結果、当日は1,200名を超える参加者をお迎えすることができました。



後援会スタッフ

こちらが、当日の市ケ谷キャンパスでの父母懇談会を支えてくれたメンバー一同です。今年は総長講演、トライアルで実施のキャリアセンターによる個別相談会など例年ない行事があり、他キャンパスからの応援、OB・OGの協力による「オール法政」メンバーで、無事盛況のうちに終えることができました。ありがとうございました。



大活躍のえこびょん

今年も市ケ谷キャンパスに応援に来てくれた「えこびょん」。キャンパスツアーでのお見送り、来場者のお出迎えや記念撮影と、ひっぱりだこの人気でした。移動は苦手にもかかわらず、会場で獅子奮迅の活躍をしてくれたえこびょんには、もう感謝しかありません。来年もぜひ市ケ谷キャンパスを盛り上げるために来てくださいね！



総長講演

当日はDiana Khor総長による講演が薩埵ホールにて開催されました。市ケ谷での総長講演はコロナ禍を経て2018年以降の対面開催となり、現役員では誰一人経験値のない中、当時を知るOBによる経験談を頼りに準備を重ねました。案内や誘導をスムーズに行うべく人員配置やメンバー間の連携など前もって確認したことで、当日の来場者の多くにご参加いただき盛況の中で講演を終えることができました。



キャンパスツアー

写真はこれからツアーに出発するところです。市ケ谷恒例の「儀式」があり、「いってきます」と「いってらっしゃい」を大きな声で言わないと出発できない旨、担当の学生スタッフから申し送りがあります。当日の来場者は1,200名強でしたが、ほぼ半数の615名がご参加くださるという盛況ぶりでした。運営に携わった後援会スタッフと、毎年ご協力いただいている学生スタッフの皆さまには改めて感謝申し上げます。

支部からの報告

六大学野球統一応援



群馬県支部
支部長
岡田 勇人

9月21日(日)、立教戦を応援しました。この日はDiana Khor総長が観戦され、法政OBで元プロ野球選手の小早川毅彦さんが始球式を務める豪華な一日。試合は片山選手の本塁打で先制し、6回には満塁のチャンスをものにし、3点を奪うなど白熱の展開。8回には立教打者のバットが折れる場面もあり、力と力のぶつかり合いを体感しました。山床選手が満塁のピンチを見事に抑え、最後は9回を締めて勝利！応援団やチアと一体となって声援を送り、校歌や応援歌も口ずさめるようになりました。1年目は早稲田、2年目は慶應、3年目は立教と、3年連続で異なる大学との試合の応援を経験でき、とても楽しく貴重な体験となりました。



栃木県支部では、10月4日(土)に『六大学野球応援』を実施しました。参加者は総勢37名となり、応援席の一大勢力に！対戦相手は春のリーグ戦を制覇した強豪「早稲田大学」。6回まで4-0と優位に試合を進めるものの、途中から降り出した雨が激しくなり、私たちは慣れない雨具を身に着けての応援となりました。後半は一気に早稲田大学が追い上げ、試合は8回を終わって4-4の振り出しに戻ります。それでも意気消沈することなく、降りしきる雨の中最後の力を振り絞って応援を続けました。その声援が届き、法政大学は9回表に1点を入れ5-4での勝利！！雨の中の応援は大変でしたが、接戦をものにしたことで、ずぶ濡れになった体が気持ち良いくらいでした！？会員同士の親交が深まり、選手や応援団の皆さんからエネルギーをいただけた素晴らしい機会となりました。

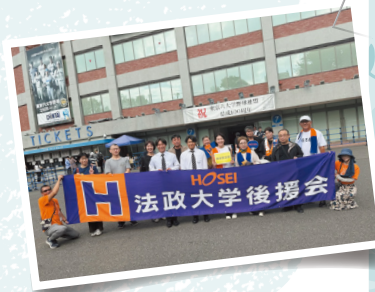


栃木県支部
支部長
渡辺 佳則



熊本県支部
支部長
徳丸 宏美

火の国応援団13名で、早稲田戦2勝目を懸けた戦いに挑みました。日頃体験できないさまざまな応援。大いに楽しみ、一致団結しながら、躍動感ある応援席を創り出していったことが今回の良き思い出です。後援会本部の皆さまの手厚いサポートもあり、充実した観戦ができましたこと、この場をお借りしてお礼申し上げます。六大学ならではのエール交換、応援団に交じっての観戦は、ぜひとも足を運んでいただきたいイベントの一つです。対戦相手への敬意、母校愛を込めた校歌斉唱、伝統を引き継ぐ法政大学の素晴らしいさを感じます。校歌を予習し、広い大空を見上げながら熱唱。神宮球場で校旗が泳ぐ中、肩を組みながら揺れるほどに応援できる感動の瞬間を、来年につなげる活動に努めていきたいと思います。



箱根駅伝予選会応援報告



10月18日(土)、立川の空は快晴。箱根駅伝予選会に挑む法政大学陸上競技部駅伝チームを応援するために、全国の支部から応援に駆け付けてくださった後援会会員の皆さんと一緒に昭和記念公園の沿道にオレンジの幟を立て、選手に熱い声援を送りました。4年ぶりの予選会出場とあって、緊張が感じられる選手もいましたが、夏の菅平合宿で鍛え上げた走力と結束力を武器に臨んだ予選会本番。大島選手(4年)、野田選手(3年)が安定した走りを見せた序盤でしたが、後半にかけて後続選手のわずかな差が積み重なり終盤で逆転を許し苦しい展開に。それでも最後まで諦めず、ラストスパートでは意地の走りを見せるも、結果は11位。残念ながら箱根路への夢は断たれましたが、この経験が必ずや次への力となり、再び本戦の舞台上で活躍してくれることを期待しています。“がんばれ法政！”



法政大学後援会
総務
山口 剛史

キャリアセンターから会員の皆さまへ

近年の就職活動の早期化・多様化への キャリアセンターとしての取り組み



法政大学キャリアセンター事務部長 相良 竜夫

近年、日本の就職活動は新卒一括採用から早期化・多様化が進んでいます。背景には、企業の人材獲得競争の激化や学生のキャリア観の変化、オンライン化による情報流通の加速があります。こうした中でキャリアセンターでは、学生・企業双方の動向を整理し、今後の課題への対応を進めています。

まず、キャリア教育の早期化を図り、1・2年次から自己分析や業界研究の支援を行っています。また、留学やインターンシップといった多様なキャリア形成を促す相談対応も実施し、学生が早期から進路を意識できるよう工夫しています。学生側でも、季節ごとのインターンシップ参加やオンライン説明会、OB・OG訪問の活用が一般化しており、情報格差の解消が進む一方、進路選択に伴う負担や不安も見られるため、細やかな相談対応を心掛けています。

企業側では、インターンの多様化、オンライン面接、通年採用など柔軟な採用手法が進んでいます。早期接触による学生の囲い込みや選考機会の不均衡も課題です。

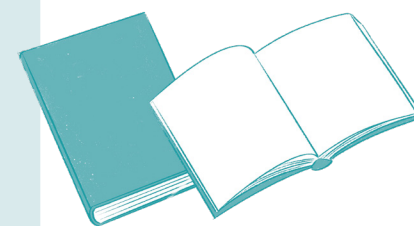
これらの状況に対し、本学では以下の対応を進めています。第一に、早期化が学業に支障を来さぬよう、授業や

試験と両立可能な選考スケジュールを企業と大学が連携して構築できるよう(社)日本私立大学連盟を通じて国に提言を行っていま



す。第二に、経済的・地理的な情報格差を縮小するため、大学・政府は中立的な立場でキャリア支援・ふるさと創生を推進することが求められており、2025年9月20日に「ふるさと回帰・移住交流推進機構」と協定を締結しました。第三に、公平な機会保障の観点から、留学生や留学経験者の支援に力を入れています。

他方では、このような情勢から就職活動の早期化・多様化は不可逆的であり、学生の選択肢を広げる前向きな変化であると捉えています。キャリアセンターでは、公務員試験や資格取得に向けた講座の運営、障がいのある学生やLGBTQ学生、留学生への支援、AIを活用した就職アドバイスなど多様な取り組みも進めています。今後も学生が希望の進路を実現できるよう積極的に支援を行ってまいりますので、ぜひキャリアセンターを活用してください。



法政大学後援会事務局

所在地 〒102-0073 東京都千代田区九段北3-2-3 法政大学九段校舎4F
TEL 03-3264-9350
FAX 03-3264-9367
E-MAIL koenkai@hosei.ac.jp

後援会ウェブサイト
<https://www.hosei-koenkai.org/>

